



Pink Ribbon
2007
Festival
Tokyo
Kobe
Sendai
ピンクリボンフェスティバル

2007

ピンクリボン フェスティバル

報告書

2007年
朝日新聞社



1. ごあいさつ

この度は、「ピンクリボンフェスティバル2007」にご協賛、ご協力、ご支援頂きまして誠にありがとうございました。

今年は、仙台でのシンポジウムを新たに加え、東京、神戸、仙台でフェスティバルを開催いたしました。3都市ではシンボルマークのピンクリボンバッジや啓発パンフレットなどを配る街頭キャンペーンをはじめ、ウオークイベントやシンポジウムといったイベント、ライトアップや街のデコレーション、デザイン大賞の最優秀賞作品を使った交通広告、Yahoo!JAPANをはじめとするウェブサイトとも連動し、映画ともタイアップし、幅広いキャンペーンを展開しました。

また、アメリカ、イタリアで実施されてきたスチュアート・ワイツマンによる乳がんチャリティ企画が初上陸。「ブレストキャンサー・アクション in JAPAN」として、ピンクリボンフェスティバルの一環として開催しました。著名な日本人女性が真っ白なヒールにデザインを施し、オブジェを制作。Yahoo!オークションにかけ、売り上げ全額を(財)日本対がん協会「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付する企画で、華やかさを添えてくれました。

東京では、昨年引き続き、1日に東京都とスクラムを組み、フェスティバル記者会見(「ブレストキャンサー・アクション in JAPAN」のお披露目)、都庁のライトアップ点灯式を実施しました。

点灯式イベントでは、都が主催してスポーツキャスターの荻原次晴さん、スポーツコメンテーターの小谷実可子さん、女優の宮崎ますみさんらが参加し、映画「Mayu-ココロの星-」の主演の平山あやさんも加わり、乳がん検診の大切さを伝えるためのトークショーも実施しました。

ライトアップは、都庁以外にもレインボーブリッジ、表参道ヒルズやタワーホール船堀(江戸川区)などが参加し、乳がん月間の初日を華やかに彩りました。

6日に有楽町マリオンで開催したシンポジウムには、ゲストに大空真弓さんを招き、一般の部と体験者の部とあわせて約1500人が参加しました。7日のスマイルウオークは、六本木ヒルズから東京ミッドタウンに会場を移して初開催。約5300人がピンクリボンのメッセンジャーとして街を歩きました。

今年、4回目の開催となった神戸では、9月30日に、自治体が主体となって街頭キャンペーンを実施。翌1日に、神戸ポートタワーのライトアップでフェスティバルがスタートしました。27日のシンポジウムには、ゲストに音無美紀子さんを招き、約700人が参加。28日の東遊園地でのスマイルウオークには約3500人が参加しました。また、三宮のメインロード「フラワーロード」を飾った巨大なピンクリボンフラッグは定番となり、ピンクリボンの季節を告げる役目を果たしていました。ホテルやバーが協力してピンク色の食材を使ったピンクリボンメニューやドリンクも定着。新たに、ヴィッセル神戸がピンクリボンのPRに一役買っていました。

仙台は2回目の開催。9月30日にはピンクリボンフェスティバルin仙台推進委員会が街頭キャンペーンを実施。13日の勾当台公園市民広場でのスマイルウオークには約2400人が参加。ピンク色の笹かまぼこが登場し、500本はあっという間に完売する人気ぶりでした。21日には、仙台で初めてシンポジウムを開催。村井国夫さんをゲストに約500人が参加しました。また、仙台女子プロレスや楽天の試合でピンクリボンPR企画も登場。仙台でのピンクリボン認知度も高まってきました。

このように、同時多発的に厚みをもったキャンペーンを実施できましたのも、みなさまの多大なご支援の賜と心より感謝申し上げます。

今後とも、ピンクリボンに込められたメッセージを全国に届け、乳がんで命を落とす人を少なくするために、みなさまとともに、ピンクリボン活動を大きくしていきたいと思っております。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. フェスティバル2007 組織図&内容

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるピンクリボンキャンペーン



主催：ピンクリボンフェスティバル運営委員会

- 朝日新聞社 ●テレビ朝日 ●朝日放送 ●東日本放送 ●(財)日本対がん協会「ほほえみ基金」 ●六本木ヒルズ ●有楽町マリオン
 ●大丸有エリアマネジメント協会 ●大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会 ●(社)日本音楽事業者協会
 ●神戸市役所 ●神戸商工会議所 ●仙台市 ●仙台商工会議所 ●河北新報社(※青字は04年、緑は05年、ピンクは06年、赤は07年から加盟)

後援 厚生労働省、(財)日本看護協会、
 東京都、兵庫県、宮城県、DS朝日
 提携 ヤフー(株)

事務局〔朝日新聞社事業本部内〕

協賛、協力各社

支援 三菱地所(株)、森ビル(株)、
 (株)東武東上線、(株)東武東横線、
 (株)東武東上線、(株)東武東横線、
 NPO法人J.POSH、あけぼの会、NPO法人乳房健康研究会、
 首都高速道路(株)、

- 1 **ピンクリボン・デザイン大賞**
 5月13日(日)～7月12日(木)
 10月1日 駅張り、中吊り広告ほか
- 2 **ピンクリボン・スマイルウオーク**
 10月7日(日) 東京/10月13日(土) 仙台
 10月28日(日) 神戸
- 3 **シンポジウム**
 10月6日(土) 東京・有楽町朝日ホール
 10月21日(日) 仙台・仙台国際センター
 10月27日(土) 神戸・ポートピアホール
- 4 **ピンクリボン・街頭キャンペーン**
 9月30日(日) 神戸・三宮中心街
 仙台市・一番町4丁目買物公園他
 ※東京都は自治体が個別に展開
- 5 **記者発表会&都庁点灯式**
 10月1日(月) 都民ホール、都民広場

- 6 **ライトアップ**
 10月1日(日) 東京都庁、レインボーブリッジ
 日本看護協会ビル、表参道ヒルズほか
 神戸ポートタワー、明石海峡大橋ほか
- 7 **街のデコレーション**
 10月～ 東京、神戸、仙台：街のフラッグ展開
- 8 **ブレストキャンサー・アクション in JAPAN**
 10月29日～11月4日 六本木ヒルズにて展示
- 9 **交通広告・街頭ビジョン**
- 10 **インターネットキャンペーン**
- 11 **公共広告機構 テレビCM**
- 12 **乳がん電話相談** 日本対がん協会
- 13 **映画「Mayu- ココロの星-」「私の胸の思い出」**



3. フェスティバル協賛・支援企業など

主催:ピンクリボンフェスティバル運営委員会

(財)日本対がん協会、東京ミッドタウン、六本木ヒルズ、表参道ヒルズ、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、有楽町マリオン、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、(社)日本音楽事業者協会、神戸市、神戸商工会議所、仙台市、仙台商工会議所、テレビ朝日、朝日放送、東日本放送、河北新報社、朝日新聞社

後援:厚生労働省、(社)日本看護協会、
東京都、兵庫県、宮城県、(株)BS朝日
提携:ヤフー(株)

仙台フェスティバル支援
ピンクリボンフェスティバルin仙台推進委員会*



支援:三菱地所(株)、三井不動産(株)、森ビル(株)、
(振)原宿表参道櫺会、(社)神戸港振興協会、
NPO法人J.POSH、あけぼの会、NPO法人乳房健康研究会、首都高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)

協賛 富士フイルム(株)、(株)シャルレ、(株)ワコール、コセキ(株)、エイボン・プロダクツ(株)、(株)東芝、中外製薬(株)、富士フイルムメディカル(株)、コニカミノルタヘルスケア(株)、セコム損害保険(株)、住友信託銀行(株)、住友生命、AIGスター生命保険(株)、(株)ニューバランス ジャパン

協力 リコーリース(株)、(株)インパクト21、(株)アプレシオ、STUART WEITZMAN、メスキュード医療安全基金、(株)イトーキ、ピーシーエー生命保険(株)、オーティコン(株)、(株)シームス、王子ネピア(株)、B-Three、(株)サンリオ、セールス・オンデマンド(株)、(株)高島屋、アストラゼネカ(株)、ジュピターショップチャンネル(株)、大鵬薬品工業(株)、M's DS、ダイワ精工(株)、東日本旅客鉄道(株)

仙台フェスティバル協賛・協力

アイリスオーヤマ(株)、東北電力(株)、(株)藤崎、住友信託銀行 仙台支店、(株)七十七銀行、(株)三越 仙台店

*ピンクリボンフェスティバルin仙台推進委員会

仙台市、宮城県、仙台商工会議所、宮城県対がん協会、(財)仙台観光コンベンション協会、PO法人キューオーエル、朝日ウィル、東北大学病院 乳腺・内分泌外科、(財)せんだい男女共同参画財団、仙台女子プロレス、東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、朝日新聞社

シンポジウムのための協力

桃谷順天館グループ、米国研究製薬工業協会(PhRMA)、シスメックス(株)、島津製作所、日本化薬(株)、日本農産工業(株)、(株)ハイネット



4. 実施報告

10月1日：乳がん月間スタートアピール（1）

10月1日。乳がん月間スタートを印象づけようと、東京都とタイアップして、フェスティバルの記者会見、「ブレストキャンサー・アクションin JAPAN」の20足のお披露目を都民ホールで実施し、続いて、都民広場で点灯式（東京都主催）を行いました。点灯式前のトークショーには、記者会見出席のゲストが出演。乳がんの早期発見の大切さを伝えるためのトークショーなどを行いました。

1 フェスティバル記者会見

【日時】2007年10月1日(月) 16:00～17:30/ 15:30より受付

【会場】都庁都民ホール(新宿区西新宿2-8-1)

【出席者】

(財)日本対がん協会

NPO法人大丸有エリアマネジメント協会

(株)森ビルタウンマネジメント事業室プロモーショングループ課

東京ミッドタウンマネジメント(株) タウンマネジメント部

プロモーショングループ グループ統括

ヤフー(株) マーケティング本部長

東京都 福祉保健局保健政策部健康推進課長

厚生労働省老健局老人保健課課長補佐

(株)テレビ朝日 事業局長

朝日新聞社 事業本部 事業本部長

事務局長 関戸 衛

理事 仲條 亮子

山本 栄三

吉田 幸男

大薙 淳司

福内 恵子

古元 重和

塚崎 修治

後藤 尚雄

【ゲスト】スポーツキャスター 荻原 次晴／スポーツコメンテーター 小谷実可子

女優 宮崎ますみ／シンガーソングライター 大野靖之

【次第】

①主催者あいさつ

(朝日新聞社)

②現在の乳がん事情

(日本対がん協会)

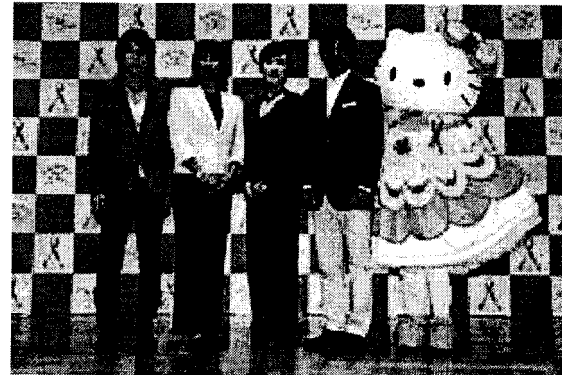
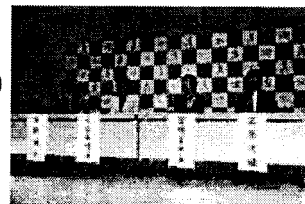
③東京都の乳がんの現状

(東京都)

④「ピンクリボンフェスティバル2007」概要

(事務局)

⑤ゲストによる「ピンクリボン」メッセージなど



荻原次晴さん



大野靖之さん



小谷実可子さん

今年初参加の宮崎さんは「乳がんにならなければ気づかなことがあった。自分自身を見直すことができたのも、早期発見だったからこそ」と語った。5年連続出場の荻原さんは「乳がん検診を男性からも薦めてほしい」。小谷さんは「40歳で乳がん年齢になった。家族が笑顔でいるためにも、自分の健康から」。大野さんは今年ピンクリボンをテーマにした歌を作ったことを披露。ゲストそれぞれの思いを語っていただきました。



宮崎ますみさん